

四谷の

千枚田だより



第73号



鞍掛山の傷き水天日千し
こんな贅沢ほかにあるかん (舜)

09.9.14 撮影

副知事さん来訪

九月四日、稲垣副知事が四谷の千枚田を訪れ、千枚田を見るなり「これは素晴らしい、見事だ」を連発。この、自然との調和は当に県の宝だ！と絶賛されました。

今回、副知事が千枚田を訪れた経緯は森林・林業技術センター及び新城設楽農水事務所視察の途中、是非千枚田へもお招きしたいと(舜)の願いが農水事務所の計らいから実現したものです。

稲垣副知事は十数年前、(舜)に招かれていたが、やつと来ることできたと大変喜び、お互いに旧知を確かめました。

景観、環境活動



九月六日、保存会、お助け隊合同の景観、環境整備活動を実施した。

今回の活動は「あいち森と緑づくり」事業の一環として里地里山に配慮した千枚田周辺の環境整備①ふれあい広場の草刈り②水車小屋上の草刈り③千枚田入り口周辺の草刈りを実施した。ご苦労様でした。

棚田サミット

十月十六日～十七日、第十五回国棚田(千枚田)サミットが新潟県十日町市(星峠の棚田・蒲生・儀明の棚田・新田の棚田・留守原の棚田)で開催される。四谷の千枚田から二十七人が参加。全国の百姓と情報交換、交流を図る。

里山を歩く、森を学ぶ

九月二日、三日、神奈川県相模女子大学短期大学部社会マネジメント学科のゼミ生十名と松下教授が林業・農業体験と地域交流を学ぶため新城市を訪れた。

一日目は鳳来寺山のみもとで「森林真剣隊」指導の林業体験を行い、夜は「やまびこの丘」で隊員と交流会が行われた。

二日目は、自然観察指導員の小山舜二の案内で、日本一美しいといわれる四谷の千枚田(棚田)を歩いた。

経済優先のなかで、見捨てられようとしていた棚田を守っていった話を伺った。
(同大HPより抜粋)

相模女子大生と♪



稲刈り

● 九月十日、豊橋調理製菓専門学校の実習田で三十一人の学生と先生達で稲の生育調査、稲刈り、ハザ干しが行われた。昼飯は地元のおっかさんの指導で名物のご平餅つくりを学んだ。



稲刈りと生育調査に励む生徒達

● 九月十二日、三河の山里ツーリズム(シリーズ)に参加した十五名は自らが田植えした田んぼが黄金色に穂った稲穂に感激。なれない手つきで稲刈り、ハザ架けを行った。

小沢ではドジョウ、カワヨシノボリ、カワムツなどを採集、自然の豊さを確認した。昼食はご平餅つくりに挑戦。秋の一日を満喫した。



お助け隊指導によるハザ架け作業

● 九月三十日、連谷小学校の稲刈りが予定されている。

ふるさと指導員研修

十月七日・八日、ふるさと水と土基金全国研修会が東京オリンピック記念館で開催され、保存会(お助け隊)から林義明、原田英史の両名が受講する。

受講者は「愛知県ふるさと水と土指導員」に登録され、地域住民活動において指導的立場となる。

ボランティア活動

十月九日、恒例行事となったアストラゼネカ社(外資系製薬会社)社員百十八名が棚田の環境整備、高齢者等の支援活動に訪れる。

当日は保存会、お助け隊なども出役、共に汗を流し、イノシシ汁を囲

み交流が計られる。

インフォメーション

● 八月二十二日、NHKウイークエンド中部「ときめきの旅 清流が育む豊かな里」愛知 新城が放送された。放送当日はテレビを見た!と約百人くらいが、翌日曜日には三百人以上が訪れ、一日中、駐車場が一杯の状況だ。今でも大勢訪れる。

● 九月二日、テレビ愛知「アイ奥三河で見つけた小さい秋・色づく棚田探訪」が放送された。黄金色に実った棚田に虫の音が爽やかに描写された。

新城探検隊

九月十日、昭和女子大の教授とゼミ生九人が新城市内観光スポット調査の一環として千枚田を訪れ、案内を頼まれた。(舜)は「この千枚田は農業の生産の場であると認識している。地区住民も訪れる方々により環境、憩い潤いの場を提供しようと頑張っている」と思っているが、調査主旨の観光地の定義を教える「頂きたい」との問いかけに明解な回答は得られなく残念であった。

棚田探訪

九月十五日、朝日カルチャー主催(名古屋)の棚田探訪が催される。

行 平成二十一年九月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二